



金融資産は何のために持つのですか？

病気や不時の災害の備えが7割弱で1位

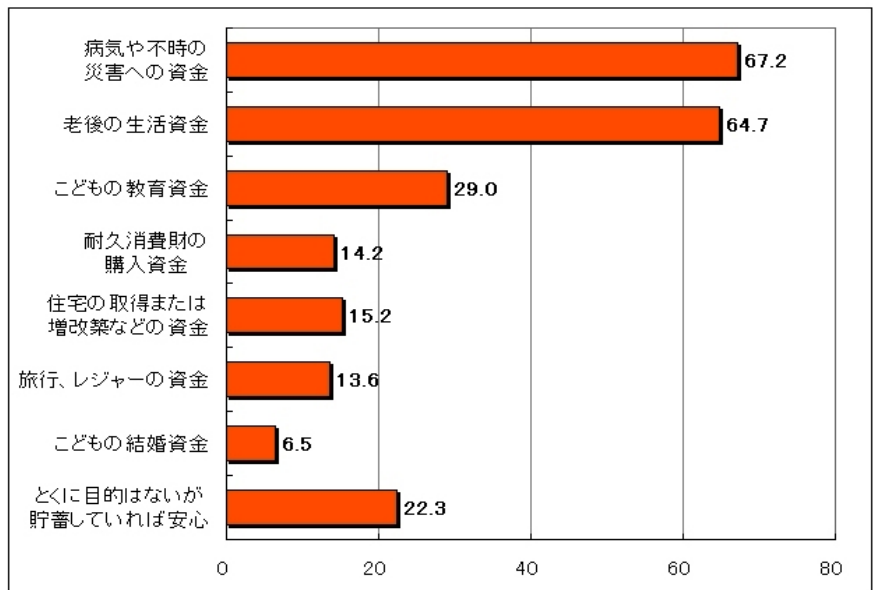
●「老後の生活資金」も6割強

金融広報中央委員会の「平成24年家計の金融行動に関する世論調査（二人以上世帯調査）」では、金融資産の保有額は、全体の平均値は1,108万円で、目標としている金額は2,259万円でした。金融商品別に見ると、預貯金の構成比がもっとも高く56.9%、以下、生命保険17.6%、有価証券（債券・株式・投資信託）、が13.2%となっています。

金融資産の保有目的では、「病気や不時の災害への備え」がもっとも多く、ついで「老後の生活資金」でした。「とくに目的はないが、貯蓄していれば安心」という人も2割強います。

病気や不時の災害への備えを考えれば、預貯金などで少しずつ蓄えるのではなく、契約されたその日から十分な保障が準備でき、安心できる生命保険が一番ですね。

金融資産の保有目的（3つまでの複数回答）



金融商品別構成比（2009年～2012年の推移）

	預貯金	うち定期性	貸付 金銭 信託	生命 保険	損害 保険	個人 年金	有価 証券	債券	株式	投資 信託	財形 貯蓄	その他
2009年	55.1	35.9	0.8	18.0	2.7	6.0	14.4	3.1	6.7	4.6	2.6	0.4
2010年	54.3	34.2	1.0	17.7	2.7	5.5	15.4	3.7	6.7	5.0	2.5	0.8
2011年	55.2	33.5	0.9	17.4	2.7	5.8	14.3	3.0	6.6	4.8	2.5	1.1
2012年	56.9	34.2	1.2	17.6	2.2	5.7	13.2	2.4	5.6	5.1	2.4	0.9
2012年 の実額(万円)	630	379	13	195	24	63	146	27	62	57	27	10

金融広報中央委員会「平成24年 家計の金融行動に関する世論調査」[二人以上世帯調査]より